

2020年3月期 第2四半期決算説明会

代表取締役会長兼社長 CEO 家次 恒 2019年11月7日

<本プレゼンにおける掲載内容の変更について>

- 2019年3月期第3四半期までは所在地別にて掲載していましたが、今期より地域別での掲載へ変更しております。
- 所在地別の売上高、営業利益については、参考資料として掲載しております。

当社グループは、2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。



Index

- 1. 2020年3月期第2四半期決算総括
- 2. 2020年3月期 業績予想

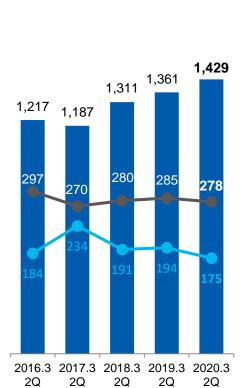


1. 2020年3月期 第2四半期 決算総括

決算総括

(億円)





	2020年3月期2Q	前年同期
1USD	108.6円	110.3円
1EUR	121.4円	129.9円
1CNY	15.7円	16.8円

━営業利益

——四半期利益

	2020年3	月期 2Q	前年	同期	(億円) 前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	的干的粉地
売上高	1,429.9	100%	1,361.9	100%	105.0%
売上原価	654.5	45.8%	596.6	43.8%	109.7%
販売費及び 一般管理費	400.3	28.0%	397.8	29.2%	100.6%
研究開発費	104.6	7.3%	87.6	6.4%	119.4%
その他の営業損益	7.6	0.5%	5.2	0.4%	145.1%
営業利益	278.0	19.4%	285.0	20.9%	97.5%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	175.9	12.3%	194.7	14.3%	90.3%

● 売上高

円高の影響を受けるも、国内、海外共に好調に推移し、増収

● 営業利益

増収効果により粗利益が増加するも、円高の影響や研究開発費の増加等により、減益

- 為替の影響

売上高 △62.4億円

営業利益 △20.4億円

- 前年同期為替レート適用の場合

売上高 109.6%

営業利益 104.7%

● 四半期利益 為替差損の影響や、税負担率の増加等により、減益

- 為替差損益 △16.7億円

売上高の増減要因(地域別)



	2020年3月期 2Q		前年	同期比
	実績	実績構成比		現地通貨ベース
 5上高	1,429.9	100.0%	105.0%	109.6% *
米州	327.8	22.9%	104.4%	106.1%
EMEA	375.8	26.3%	104.4%	111.6%
中国	374.1	26.2%	103.3%	110.4%
AP	125.1	8.7%	107.8%	112.0% [*]
 日本	226.9	15.9%	108.4%	-

地域別売上高 (億円) 為替の 日本 影響 17.5 中国 13.9 △62.4 EMEA 37.1 米州 20.2 1,429 1,361 +67.9億円

2019.3 2Q

※為替の影響を除いた円貨ベースの前年同期比伸長率

2020.3 2Q

事業別·品目別売上高



				2020年3月	田田2〇	前年	同邯		(億円) 前年同期比
				実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	前井内朔山(前期レート)
			ヘマトロジー	894.7	62.6%	845.1	62.1%	105.9%	110.4%
			凝固	228.6	16.0%	230.1	16.9%	99.4%	104.4%
			尿	100.3	7.0%	94.6	6.9%	106.0%	111.5%
			免疫	68.5	4.8%	62.7	4.6%	109.2%	113.6%
事			生化学	14.1	1.0%	15.3	1.1%	92.5%	94.3%
業別			FCM事業	7.4	0.5%	7.1	0.5%	104.0%	109.1%
הרע			IVDその他	66.4	4.6%	59.9	4.4%	110.8%	113.5%
		IV	D事業	1,380.3	96.5%	1,315.0	96.6%	105.0%	109.5%
		LS	事業	49.5	3.5%	46.8	3.4%	105.7%	111.7%
	売	上	高 計	1,429.9	100.0%	1,361.9	100.0%	105.0%	109.6%
	機	器		360.2	25.2%	355.1	26.1%	101.4%	105.9%
				842.8	58.9%	816.1	59.9%	103.3%	107.9%
品				替えの影響を除く)※				(105.9%)	(110.7%)
目		ービ		177.1	12.4%	154.4	11.3%	114.7%	118.5%
別	(中	国で	の品目組みを	替えの影響を除く)※				(101.5%)	(104.9%)
	₹0	の他	<u> </u>	49.7	3.5%	36.1	2.7%	137.7%	144.5%
	売	上	高計	1,429.9	100.0%	1,361.9	100.0%	105.0%	109.6%

[※]中国地域において、2019年3月期2Qまで「試薬」に計上していた売上の一部を、2019年3月期3Qより「サービス」へ組み替えています。

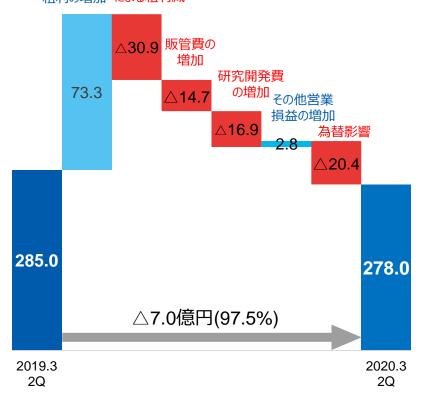
営業利益の増減要因



営業利益

(億円)

増収による 原価率悪化 粗利の増加 による粗利減



為替の影響を除けば、実質増益

※下記数字は為替の影響を除く

● 増収による粗利の増加 : +73.3億円

● 原価率の悪化 : +2.0pt

・ 機器仕入れ製品増加等による影響 : +1.1pt

• 米国や中国におけるサービスコストの増加 : +0.4pt

プロダクトミックスの変化(試薬構成比の上昇): △0.7pt

● 販売管理費の増加 : +14.7億円

• 米国および中南米における販売体制の強化 : +9.8億円

EMEAにおける販売体制の強化 : +2.5億円

● 研究開発費の増加 : +16.9億円

ヘマトロジー新製品やLS事業等への投資 : +10.3億円

バイオ診断薬拠点による費用増加 : +6.6億円

▶ 中国助成金の受領 : +5.2億円

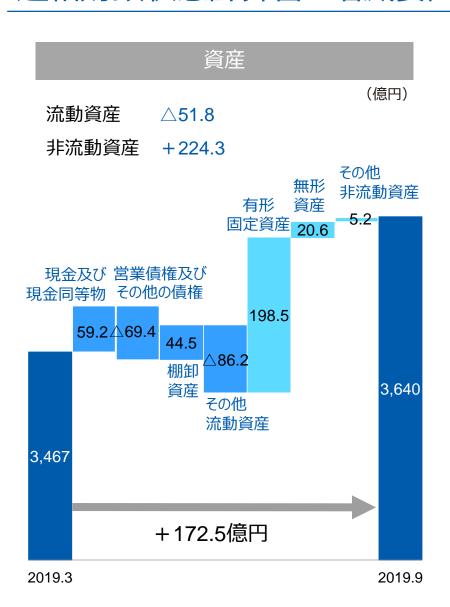
● 為替の影響 : △20.4億円

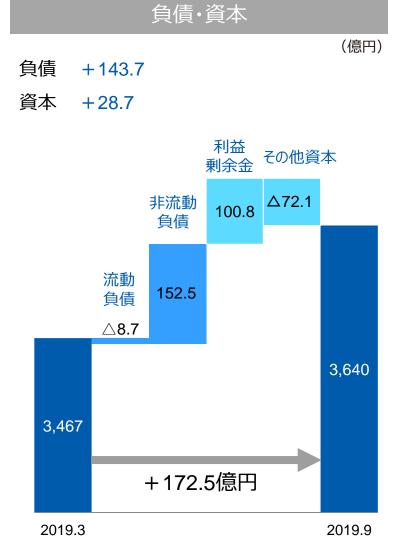
※ バイオ診断薬拠点関連費用合計: +10.3億円

(原価:+1.5億円、販売管理費:+2.2億円 研究開発費:+6.6億円)

連結財政状態計算書の増減要因

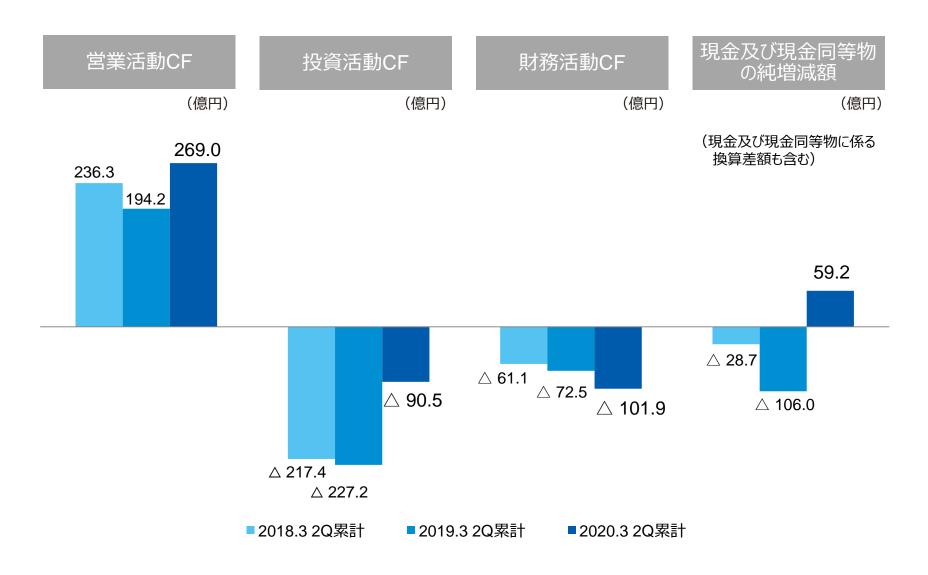






キャッシュフローの推移





トピックス



IVD事業

- 米国大手検査センターにおいて、ヘマトロジー分野の大型案件を受注
- 4月より販売体制を変更したインドのヘマトロジー市場において、複数の大型案件を獲得
- ブラジルのヘマトロジー中下位市場において、3Qより新体制での販売を開始
- 世界アンチ・ドーピング機構の認定・承認分析機関に当社製品が一斉採用



世界アンチ・ドーピング機構に 一括採用された製品

ライフサイエンス事業

- 保険適用を受けたがんゲノムプロファイリング検査用システムが、2Qより測定受託開始
- 国内初リキッドバイオプシーによる大腸がんRAS遺伝子変異検査の製造販売承認を取得
- ▶ 可溶性免疫チェックポイント分子(sPD-1、sPD-L1、sCTLA-4)全自動測定法を構築



OncoBEAM™ RAS CRCキット

その他

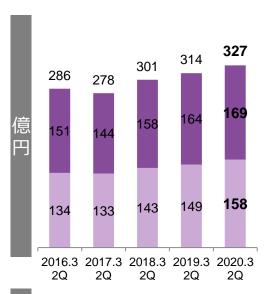
- バイオ診断薬拠点「テクノパーク イーストサイト」をオープン
- ヘルスケア分野における新たなイノベーション創出に向けシスメックスと大阪大学が包括連携契約を締結
- 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に4年連続選定

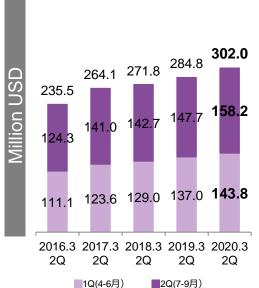


米州(地域別)



売上高





(億円)	2020年3月期 前年同期		前年同	前年同期比		
	2Q		(円ベース)	(現地通貨ベース)		
売上高	327.8	314.1	104.4%	106.1%		
機器	89.3	94.5	94.5%	96.2%		
試薬	152.6	137.4	111.0%	112.8%		
サービス・その他	85.8	82.1	104.6%	106.2%		

米国の凝固分野やブラジル代理店向けへマトロジー分野の売上が減収 するも、米国、カナダのヘマトロジー分野の売上伸長により、増収

- ●機器:米国において、新製品のFDA認可が遅延している尿分野や、前年 同期に大手検査センター向け案件があった凝固分野の売上が減少し、減収
- 試薬:ヘマトロジー機器の設置台数増加により北米・中南米ともに試薬売上が堅調に推移したこと等により、増収

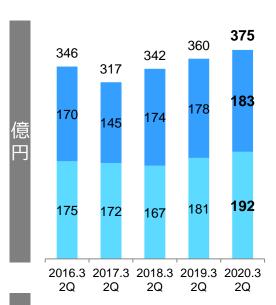
トピックス

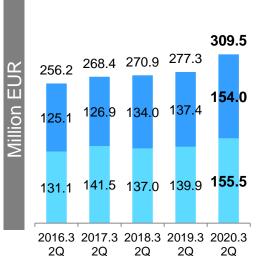
- 米国大手検査センターにおいて、ヘマトロジー分野の大型案件を受注
- ブラジルのヘマトロジー中下位市場において、3Qより新体制での販売を開始

EMEA(地域別)



売上高





1Q(4-6月)

2Q(7-9月)

(億円)	2020年3月期	前年同期	前年同期比		
	2Q		(円ベース) (現地	通貨ベース)	
売上高	375.8	360.0	104.4%	111.6%	
機器	102.5	100.2	102.2 % 1	09.2%	
試薬	216.8	205.1	105.7 % 1	13.1%	
サービス・その他	56.4	54.6	103.3 % 1	10.5%	

中東、東欧等の新興国におけるヘマトロジー分野の売上伸長や、UNシリーズの販売が好調な尿分野等が伸長し、増収

- 機器: ヘマトロジー分野において、イギリスなど先進国での案件獲得に加え、 直販が好調なエジプト等で増収。尿分野においてはイギリス、フランスの直販等 が引き続き堅調に推移し、増収
- 試薬:主に新興国において設置台数が増加し、ヘマトロジー試薬が増収。 UNシリーズが好調な尿分野においても試薬が増収

トピックス

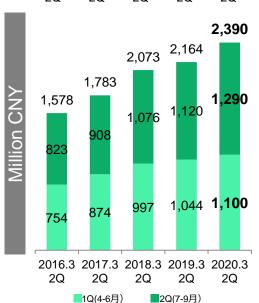
● マラリア原虫等感染赤血球の自動測定機能を搭載したヘマトロジー機器を 3Qより販売開始

中国(地域別)



売上高





(億円)	2020年3月期 2Q	前年同期	前年同期比 (円ベース) (現地通貨/	
売上高	374.1	362.3	103.3%	110.4%
機器	93.9	96.2	97.6%	104.3%
試薬 ※	242.1	255.6	94.7% (102.8%)	101.3% (110.0%)
サービス・その他 ※	38.0	10.3	368.0% (124.9%)	393.5% (133.6%)

^{※()}内は、品目組み替えの影響を除いた場合の実績 (2019年3月期3Qより、「試薬」に計上していた売上の一部を「サービス」へ計上)

ヘマトロジーや尿・免疫分野の試薬・サービス売上を中心に伸長し、増収

- 機器:1Qは前年度4Qに需要が集中した影響があったものの、2Qは免疫、 凝固分野が伸長し、現地通貨ベースでは増収
- 試薬:ヘマトロジー、尿、免疫分野の売上が堅調に推移し、品目組み替えの影響を除くと増収

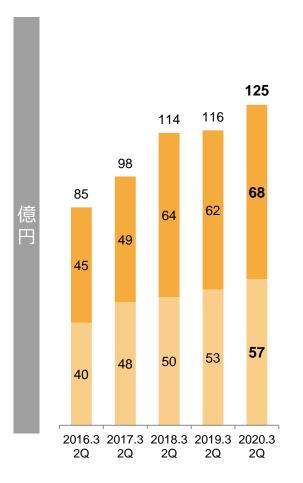
トピックス

● 凝固分野の上位市場向け製品CS-5100に対応した自社製搬送の販売 開始

AP(地域別)







1Q(4-6月)

__2Q(7-9月)

(億円)	2020年3月期 2Q	前年同期	前年同期比
売上高	125.1	116.0	107.8% (112.0%)
機器	28.1	30.1	93.5%
試薬	84.9	75.0	113.3%
サービス・その他	12.0	10.9	109.7%

()は為替の影響を除いた場合

インドにおけるヘマトロジー分野の売上伸長や、東南アジアでのデング熱流行によるヘマトロジー試薬の売上伸長等により、増収

- 機器:インド、タイでのヘマトロジー分野の好調に加え、オーストラリアで搬送システム大型案件を獲得するも、台湾での大型案件の反動やインドネシアでの国民皆保険の財源不足による機器案件減少等が影響し、減収
- 試薬:デング熱の流行により東南アジアにおいてヘマトロジー分野の売上が 伸長したことに加え、免疫試薬も貢献し、増収

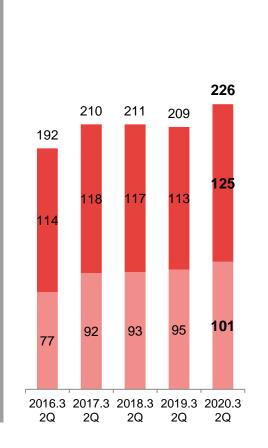
トピックス

● インドにおいて、4月よりヘマトロジー分野の新体制での販売を開始、大手 検査センターにXNシリーズを導入する等順調に推移

日本(地域別)







■1Q(4-6月)

2Q(7-9月)

(億円)	2020年3月期 2Q	前年同期	前年同期比 (円ベース)
売上高	226.9	209.3	108.4%
機器	46.2	33.8	136.6%
試薬	146.1	142.8	102.3%
サービス・その他	34.4	32.6	105.7%

ヘマトロジーおよび凝固分野における機器売上の伸長や、システム導入案件 の好調等により、 増収

- 機器: ヘマトロジー分野の買い替え需要の増加や、凝固分野新製品(CNシリーズ)の好調な販売等により、増収
- 試薬:凝固試薬や免疫ユニーク項目が好調に推移し、増収

トピックス

- がんゲノムプロファイリング検査用システムが6月より保険適用を受け、2Qより理研ジェネシスにおいて測定受託開始
- 9月に検査品質マネジメント運用支援システム「Caresphere™ QM」販売 開始



2. 2020年3月期 業績予想



()内は2019年5月公表数値

2020年3月期 連結業績予想

売上高 3,100億円 (3,200億円) 営業利益 600億円 (640億円) 営業利益率 19.4% (20.0%)

親会社の所有者に帰属する当期利益 385億円 (420億円)

当期利益率 12.4% (13.1%)

投資計画

設備投資 **140億円** (有形のみ)

減価償却費 240億円 (IFRS16適用による リース会計基準の変更含む) 研究開発費 220億円

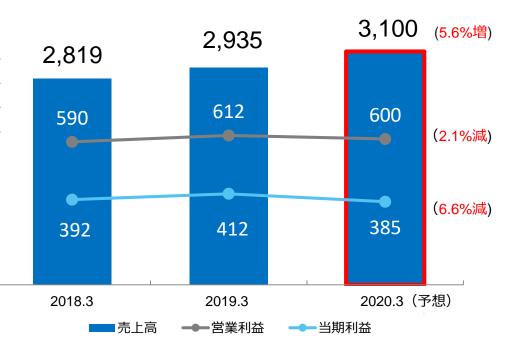
(億円)

● 想定為替レート

	通期想定 (19年11月修正)	下期 (2019年11月修正)	前期実績 (19年3月期)
1 USD	108.3円	108.0円	110.9円
1 EUR	120.7円	120.0円	128.4円
1 CNY	15.5円	15.3円	16.5円

● 為替感応度の概算値

	売上 (年間)	営業利益 (年間)
USD	6.3億円	2.1億円
EUR	4.5億円	1.1億円
CNY	52.3億円	40.5億円



※2019年5月公表より修正



(億円)

		前回予想 (2019年5月公表)	今回予想 (2019年11月修正)	増減額 (対前回予想)	増減率 (対前回予想)	前期実績 (2019年3月期)
売.	上高	3,200	3,100	△100	△3.1%	2,935
	米州	767	759		△1.0%	705
	EMEA	804	775	△29	△3.6%	756
地 域 別	中国	871	808	△63	△7.2%	782
	AP	276	276	0	0	250
	日本	482	482	0	0	440

	通期 (2019年5月公表)	通期 (2019年11月修正)	下期 (2019年11月修正)	前期実績 (2019年3月期)
1 USD	110.0円	108.3円	108.0円	110.9円
1 EUR	125.0円	120.7円	120.0円	128.4円
1 CNY	16.5円	15.5円	15.3円	16.5円

予想配当額 18期連続の増配 (案)



・年初予想から変更なし

	中間	期末	年間	配当性向
2020年3月期 年初予想	36円	36円	72円	39.0%

(参考) 所在地別実績(売上高・営業利益)



(億円)

		2020年3月期 2Q	前年同期	前年同期比	
				円貨	現地通貨
米州	外部売上高	302.6	292.5	103.5%	105.1%
	営業利益	9.5	15.2	62.4%	63.4%
EMEA	外部売上高	381.4	370.0	103.1%	110.2%
	営業利益	38.1	31.3	121.7%	127.8%
中国	外部売上高	373.7	361.7	103.3%	110.5%
	営業利益	41.4	55.4	74.8%	80.6%
AP	外部売上高	124.0	114.8	108.1%	-
	営業利益	16.1	14.6	110.0%	-
日本※	外部売上高	248.0	222.8	111.3%	-
	営業利益	179.0	175.4	102.1%	-

※IDEXX社等含む外部売上高

Lighting the way with diagnostics